世界自閉症啓発デー関連事業

「ぼくはうみがみたくなりました」上映会

2024.4.5コミュニティセンターみかみ　（野洲市）

　世界自閉症啓発デー関連事業として発達障害啓発週間期間中の4月5日に「ぼくはうみがみたくなりました」の上映会を開催しました。申し込み不要、参加費無料、自閉症に関心のある方ならどなたでもご参加くださいと告知をし、当日に向け準備を進めました。会員には相談情報部会の活動として、外部の方にもチラシ告知をして、迎えた当日は様々な立場の方にご参加いただきました。自閉症は見た目では分かりにくい障害ですが「ぼくはうみがみたくなりました」を通し特性を知る方が増えることとなり社会で過ごしていく上で大きな力添えになると思っています。これからも多くの方に自閉症を知っていただけるよう活動していく所存です。今後とも皆様のご支援のほどよろしくお願いいたします。

<参加者の感想>

* 自閉症のことを少しでも理解出来るようにと思い参加しました。これからもより深く理解したいと思いました。
* 主人公である自閉症の青年が自分の行動で気持ちを出すところが何回かあったのが良かったです。
* 地域の人との出会いの大切さを感じました。幼稚園時代を過ごした彼の近くに園長先生のような方がおられて素敵だなぁと思いました。
* 遅れての参加となってしまい迷いましたが来て良かったです。ダウン症の子を持つ

親としてダウン症の話しのシーンも盛り込まれていて、うれしかったです。ありがとうございました。

* 自閉スペクトラム症の子の親ですが我が子の様子と主人公の姿が重なり今までの色んなことを思い出しました。　日々子どものパニックで大変ですが少し優しい気持ちになりました。　自閉症の子を持つ家族や関係者の方にも見て欲しいと思いました。

加えて自閉症のことを知らない方にも見てほしいと思いました。

・ 2回目の鑑賞でしたが、心に感じるポイントが前回と変わった自分にびっくりしまし

た。親である自分の状況によって感じるポイントが違うので、何度見てもいい作品だ

と思いました。子どもや親の状況の変化によって感じ方が変わると思うと、また鑑賞

の機会があったら嬉しく思います。

* 自閉症だけでなく障害全般の理解啓発につながる内容だと感じました。